

心身共にたくましく、自ら学ぶ、心豊かな子どもの育成



茅小だより 第12号

令和8年1月30日(金)

茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校
校長 工藤 裕一郎

PTA主催芸術鑑賞会を開催 ～影絵劇団「かしの樹」さんによる影絵鑑賞～

以前より PTA運営委員会の方々と、「子どもたちの心に残る体験的な学びの場を設けたい」、「子どもたちの想像力を高めることにつながるような企画を考えたい」との思いから相談を進めてきました。運営



委員会役員の方々のアイデアとご紹介で、影絵劇団「かしの樹」さんを学校にお招きし、体育館で影絵を鑑賞することになりました。当日は体育館にて、1, 2年生が1, 2校時目に、3, 4年生が3, 4校時目に、5, 6年生が5, 6校時目にというふうに3部構成にしてくださいました。1年生から4年生までを対象に、「はらぺこプンタ」を、5, 6年生を対象に「走れメロス」を上演してくださいました。スクリーンに映し出されるのは、人形の影やその他のシルエットアートだけではなく、実際に人が演じている影や手影絵などもあり、見ているだけでワクワクしました。後で種明かしをしてくださり、スクリーンの裏側も見せてくださいましたが、驚くことにすべてのことをたった二人で行っていらっしゃいました。

影絵は、人によって見え方が異なるもの、様々なことを想像しながら見る事ができるものであるとあらためて感じました。それと私の世代からすると、どこかなつかしさを感じました。今思えば、円谷プロが制作していた人気テレビ番組、ウルトラシリーズのオープニングは影絵を多様していました。PTA運営委員会の皆様、事前準備から当日の運営まで、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

想像することを大切に ～令和7年12月24日校長講話より～

令和7年12月24日(水)にお話 朝会をオンラインで行いました。その際、校長講話で次のようなお話をさせていただきました。

「みなさんは、一杯のカレーライスに使われる水はどのくらいの量だ
と思いますか。カレーに必要な水の分量だけの話ではなく、ジャガイモや
ニンジン^{さいばい}を栽培するために使用された水、豚や牛を育てるのに費や
す水、米をつくるのに田んぼで使われる水など、カレーライスができ
あがるまでに注がれた全ての水の量です。なんとカレーライス一杯に対して約1,00
0リットル以上の水が使われているそうです。これはお風呂の水約5日分です。私た
ちは普段そのようなことを考えずにカレーライス^たを食べています。そこで提案です。も
っと『想像すること』をしてみませんか。想像することによって、感謝の気持ちや優しさが
生まれたり、危険なことに気がついたりすることができるようになっていきます。私た
ちの服、教科書やノート、鉛筆や消しゴム。どれも誰かがつくってくれたもの。すべての
物の先に人がいることを想像^{そうぞう}してみましょう。私たちはまだまだ知らないことがたくさ
んあります。でも、知識がなくても、想像することは誰にでもできます。想像することを
大切にしていきましょう。」



3年生が校外学習で茅ヶ崎市博物館とふるさとファーマーズなどを訪問

1月21日(水)、3年生が校外学習を行いました。前半
は茅ヶ崎市博物館を訪問し、学芸員さんのご指導のもと、
昔の人のくらしの様子や生活様式、使用していた道具、
えぼし岩周辺に生息する魚などについて学びました。
茅ヶ崎市の人々が、昔どのようなくらしをしていたのかを
知ることによって、現代にもつながる自分たちが住む町の地域性や特色をあらためて
学ぶことができたのではないのでしょうか。



後半は、いつもお世話になっているふるさとファーマーズの方々のご指導のもと、さ
といもの収穫体験や不耕起栽培(自然農法)に向けた土壌づくりに取り組みました。
さといもの収穫は、軍手をはめて素手で収穫し、土の感触や収穫物の手応えを実感
することができました。収穫のお手伝いをすることでお役に立てたこと、そしてお土産
にさといもをいただいたことは大きな喜びだったと思います。

また、不耕起栽培とは、草や落ち葉を畑にそのまま残し、土壌中の生き物などの
自然環境を生かして分解された有機肥料により安全で高品質な作物をつくることで
す。トラクターなどの農作業用機械も使わず環境にもやさしい栽培です。今回は枯れ

葉を蒔くなど、そうした土壌づくりを体験しました。とても寒い一日でしたが、元気な3年生。作業に熱中し、仲間と楽しみながら学んでいました。

6年生わくわく架け橋プロジェクト「おもしろい仕事人がやってきた」を実施

1月22日(木)、6年生はキャリア教育プログラムの一環として、わくわく架け橋プロジェクト「おもしろい仕事人がやってきた」を実施しました。このプロジェクトは、認定NPO法人キーパーソン21の方々のコーディネートに



よるキャリア教育実践です。この日は、「おもしろい仕事人」として、茅ヶ崎市出身の美容師、廣田純也さんがゲストティーチャーとして来てくださいました。多くの貴重なお話がございました。「美容師としてのお仕事そのものだけではなく、仕事を通して感じられるものがやりがい、ワクワクになっている」というお言葉に共感を覚えました。自分の好きなことを通して誰かのためになれるというやりがいを感じ続けてきたところ、ワクワクできる今の自分になっていたとのこと。また、like work(仕事が好き)、rice work(生計を立てる)、life work(やりがい、生きがいを感じる)という3つのキーワードを示され、これらのバランスが大事であるということも話されていました。さらに、挑戦すること、笑顔でいること、誠実でいることの大切さについてもお話いただきました。間もなく義務教育最終段階に入る6年生にとって、大変参考になるお話だったのではないかと思います。廣田先生、キーパーソン21の皆様、ありがとうございました。

仲よし級で餅つき大会を実施

1月27日(火)、仲よし級のみなさんは餅つき大会を行いました。現代においては、臼と杵でお餅をつく



ことも、食べることも、大変貴重な経験です。杵はとても重たかったと感想を述べていた人がいましたが、一生懸命愛情を込めてつき、おいしいお餅をつくることができました。みなさんは、お店で買うお餅に比べて伸びがあると感じていたようです。

食べ方は人によって好みが分かります。ある人はきなこ餅に、ある人は磯辺餅にして食べました。私もお裾分けをいただきました。お手伝いに来てくださった保護者の皆様、ありがとうございました。